

# 横浜市立大学附属病院 臨床研修医のCPCレポート作成マニュアル

(たすきがけ研修で外病院にいる先生は、自身の病院の方針に従ってください)

2011/4/1改定

## 【1】 附属病院CPC

- ・ 原則年3回、臨床講堂で開催（6、10、2月の木曜午後6時～）
- ・ 出席必須（出席を記録する） 他施設で救急研修、地域保健・医療研修の場合を除く

## 【2】 受け持ち症例が病理解剖となった場合

- ① 研修医は受け持ち症例の病理解剖に立ち会う
- ② 担当症例について病理一次検査（肉眼臓器カンファレンス）に出席する
  - ・ **病理一次検査：** **金曜午前9時より病理症例検討室で開催（医学部A棟1階病理解剖区画内）**  
**通常、病理解剖1～2週後に実施される。**
- ③ 病理一次検査の結果を含めたレポートを作成する。
  - ・ 研修期間内に病理総検査（組織学的所見を含めた症例の最終カンファレンス）が実施される場合は、組織学的所見も含めたレポートを作成することが望ましい。
  - ・ **病理総検査：** **金曜午後6時より病理症例検討室で開催**  
**開催通知は前月の末に臨床研修センターからメールで連絡**

## 【3】 病理解剖となった受け持ち症例がない場合： 病理総検査に出席し、CPCレポートを作成する

- ① 病理総検査に出席
  - ・ 開催通知を参考に、2回以上出席すること（病理部で出席を記録する）
- ② 出席した病理総検査で検討した症例のなかから1例を選択し、レポートを作成する。
  - ・ 症例の選択については病理部と相談する。

## 【4】 レポートの書き方

- ・ 担当病理医から提供される以下の資料を参考にレポートをまとめる  
呈示した症例の病理解剖診断報告書  
提示に使用したスライドのコピー（PowerPoint形式）
- ・ レポートの形式 ワード形式のテンプレートを準備しているが、他の書式でも可  
必要な記載項目 臨床経過 臨床上の問題点  
病理解剖所見（肉眼写真、組織写真を含む）  
病理診断 臨床経過と病理所見の対応に関する考察
- ・ 作成法の概略は担当病理医が教示するが、研修医自らが考え、まとめること

## 【5】 レポートの提出

- ・ レポートは原則として印刷物として提出のこと
- ・ Windowsで読み込み可能なパソコン用メディアで提出することも可能  
患者氏名IDなどの個人情報削除すること
  - ・ 提出場所 病理部（附属病院3階）
  - ・ 提出時間 平日8時45分から17時15分まで
- ・ 評価が基準に達しないと判断された場合は、再提出を求めることがある

## 【6】 その他

- ・ 本マニュアルは病理部と臨床研修センターが共同して運用する

問い合わせ先

病理部、稲山（6268、3095）  
臨床研修センター 稲森（6126）